

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月25日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田畑 禎章
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画室長 (氏名)酒井 雅人 (TEL) (078)942-2345
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,956	2.9	531	△4.3	563	△0.4	349	△2.7
2019年3月期第1四半期	7,729	1.7	555	32.2	565	34.9	359	31.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 417百万円(22.2%) 2019年3月期第1四半期 341百万円(39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17 36	—
2019年3月期第1四半期	19 12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	29,720	18,198	60.3
2019年3月期	29,080	17,038	57.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,922百万円 2019年3月期 16,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10 00	—	15 00	25 00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10 00	—	15 00	25 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	3.0	1,100	14.6	1,100	10.4	640	3.4	31 13
通期	32,000	0.7	2,200	7.1	2,200	2.9	1,350	0.4	65 66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期1Q	20,703,000株	2019年3月期	20,703,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	135,046株	2019年3月期	1,816,446株
------------	----------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	20,156,904株	2019年3月期1Q	18,802,610株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	
四半期包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は回復基調で推移しました。海外では、米中貿易摩擦の影響で米中の景気を減速させるなど世界経済に与える影響が懸念され、景気の先行きは、より一層不透明感を増しております。

当社の事業に関連する業界は、国内は、各企業の収益改善や政府の補助金の後押しもあって、設備投資は緩やかに回復しました。海外では、中国での需要は減速しましたが、東南アジアや欧州、米州における需要は堅調に推移しました。

このような市場環境のもとで、当社グループは、2020年度を最終年度とする中期経営計画で「グローバル成長市場を発展させる事業の拡大と成長、構造改革」を推進し、事業を展開しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は67億1百万円（前年同四半期比18.9%減）、売上高は79億5千6百万円（同2.9%増）となりました。このうち、国内売上高は27億4千8百万円（同25.8%増）、海外売上高は52億8百万円（同6.1%減）となり、海外比率は65.5%となりました。

利益につきましては、営業利益は5億3千1百万円（前年同四半期比4.3%減）、経常利益は5億6千3百万円（同0.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千9百万円（同2.7%減）となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、国内は容器類などの生活用品関連や自動車関連の需要が堅調に推移しました。海外では中国でのIT電子機器関連の需要は減少しましたが、欧州や米州での生活用品関連の需要が堅調に推移しました。その結果、売上高は59億5千5百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

[ダイカストマシン]

自動車関連向けを中心とするダイカストマシンにつきましては、国内の需要は減少しました。また、海外では東南アジアで需要は堅調に推移しましたが、中国で需要は減少しました。その結果、売上高は20億1百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5億6千2百万円増加しました。これは、主に未収消費税等を含むその他流動資産の減少5億2千9百万円があったものの、現金及び預金の増加7億6千9百万円、売上債権の増加2億円及びたな卸資産の増加1億2千2百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7千7百万円増加しました。これは、主に繰延税金資産の減少1億3千3百万円及び無形固定資産の減少1千7百万円があったものの、有形固定資産の増加2億3千4百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億3千4百万円減少しました。これは、主に設備関係未払金等を含むその他流動負債の増加3億6千7百万円があったものの、仕入債務の減少3億4千2百万円、未払法人税等の減少2億4千万円及び未払費用の減少2億7百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8千4百万円減少しました。これは、主に退職給付に係る負債の減少8千4百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて11億5千9百万円増加しました。これは、主に第三者割当による自己株式の処分を行ったことによる自己株式の減少7億1百万円、当該自己株式の処分による資本剰余金の増加3億2千3百万円及び利益剰余金の増加6千6百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、国内は、緩やかな回復基調で推移することが期待されるものの、海外では、国際的に深刻化する米中貿易摩擦不安、金融資本市場の変動の影響など先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような市場環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開で新規成長エリア・市場への開拓に努め、当社の独自技術とカスタマイズ対応力を活かした顧客価値創造型の製品群を市場投入し、顧客の商品価値を高める「Customer's Value Up」を引続き展開してまいります。また、生産技術力を高め、生産能力の効率化と部材の最適調達を推進し、安定した製品供給とコストダウンに努め、収益の拡大に努めてまいります。

なお、2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月24日の決算短信で公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,613	6,382
受取手形及び売掛金	5,927	6,208
電子記録債権	1,338	1,257
商品及び製品	3,176	3,346
仕掛品	3,056	2,990
原材料及び貯蔵品	411	429
その他	1,516	986
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	21,030	21,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,677	3,815
機械装置及び運搬具（純額）	1,912	1,948
工具、器具及び備品（純額）	116	119
土地	780	780
リース資産（純額）	4	4
建設仮勘定	52	111
有形固定資産合計	6,544	6,779
無形固定資産	565	547
投資その他の資産		
投資有価証券	219	221
繰延税金資産	524	391
退職給付に係る資産	136	136
その他	59	54
貸倒引当金	—	△3
投資その他の資産合計	940	801
固定資産合計	8,050	8,127
資産合計	29,080	29,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,293	3,821
電子記録債務	1,236	1,366
短期借入金	800	800
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払費用	726	519
未払法人税等	300	60
未払消費税等	14	18
製品保証引当金	123	126
役員賞与引当金	25	6
その他	1,505	1,872
流動負債合計	9,227	8,792
固定負債		
長期借入金	300	300
退職給付に係る負債	2,503	2,418
その他	11	11
固定負債合計	2,814	2,729
負債合計	12,041	11,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,053	2,377
利益剰余金	12,874	12,940
自己株式	△749	△48
株主資本合計	16,685	17,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	75
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	28	75
退職給付に係る調整累計額	△8	△6
その他の包括利益累計額合計	93	145
非支配株主持分	260	276
純資産合計	17,038	18,198
負債純資産合計	29,080	29,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,729	7,956
売上原価	5,855	6,083
売上総利益	1,874	1,873
販売費及び一般管理費	1,318	1,341
営業利益	555	531
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
固定資産賃貸料	16	16
為替差益	—	4
受取補償金	—	17
その他	10	8
営業外収益合計	30	50
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	16	—
支払手数料	0	11
その他	3	6
営業外費用合計	20	19
経常利益	565	563
税金等調整前四半期純利益	565	563
法人税、住民税及び事業税	63	72
法人税等調整額	129	131
法人税等合計	193	203
四半期純利益	372	359
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	359	349

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	372	359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	1
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△45	53
退職給付に係る調整額	3	2
その他の包括利益合計	△30	58
四半期包括利益	341	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	401
非支配株主に係る四半期包括利益	11	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2019年5月24日開催の取締役会において、当社と販売取引のある欧州代理店R.P. Injection S.r.l社の100%親会社であるGM-Injection AG社の発行済み株式の30.2%を取得する株式譲渡契約を締結することについて決議し、2019年7月4日に株式取得を完了いたしました。

1. 株式取得の理由

当社は、現在進行中の中期計画において、顧客価値創造型製品群の市場投入とグローバル戦略の発展と構造改革を目指しており、今後も欧州における当社の射出成形機をグローバルに展開、継続・発展させるためには、R.P. Injection S.r.l社とこれまで以上の関係を構築することが当社の経営にとって重要であると判断いたしました。

2. 株式取得した会社の概要

- | | |
|---------------|--|
| (1) 名称 | : GM-Injection AG |
| (2) 所在地 | : c/o Inter Beteiligungs- und Verwaltungs-AG Baarerstrasse 125, 6302 Zug |
| (3) 代表者の役職・氏名 | : President of the Board of Directors・Christoph Dicken von Oetinger |
| (4) 事業内容 | : 子会社の株式保有及び事業活動の管理 |
| (5) 資本金 | : CHF 510,000 |

3. 株式取得の相手先の名称

Presanella S.R.L. 他個人1名

4. 投資の状況

- | | |
|-----------|---------------------------|
| (1) 取得価額 | : EUR 4,530,000 (約551百万円) |
| (2) 取得株式数 | : 154株 |